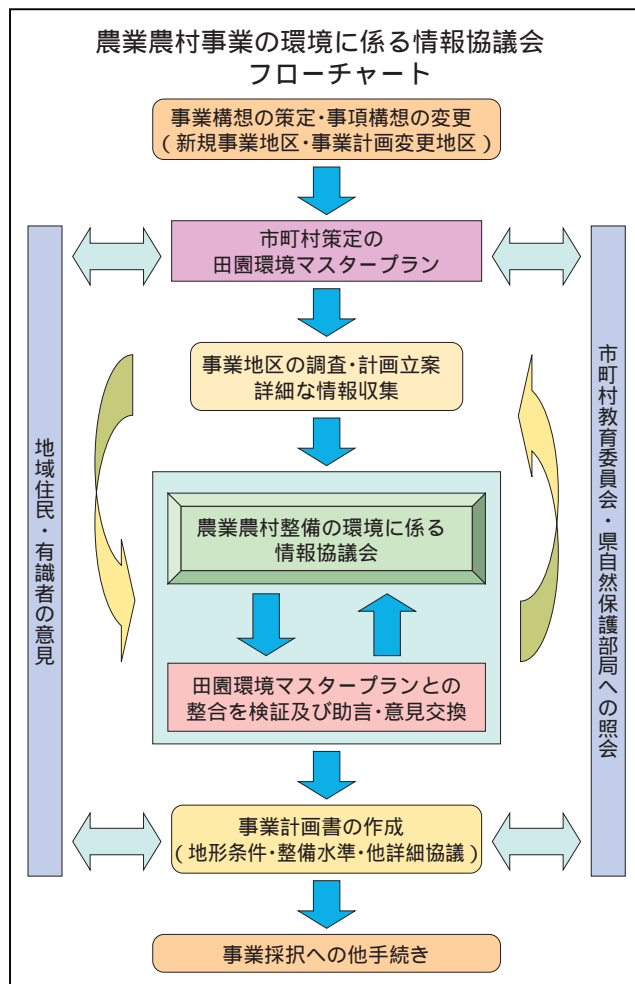


事例No.23		
事業名	農業農村整備事業の環境に係る情報協議会	事例キーワード 意見・情報交換
事業担当機関	秋田県農林水産部 農山村振興課	
事業期間		
実施場所		
事業概要	全体事業費	
	工事概要	
	事業の目的	・「農業農村整備事業の環境に係る情報協議会」は、農業農村整備事業における環境との調和への配慮の客観性、透明性を確保しつつ、事業の円滑な推進を図ることを目的に、調査・計画や実施の段階で、専門家、地域住民の代表などから、環境に関する意見交換、情報収集を行うために設置している。
環境配慮の内容	<p>「農業農村整備事業に係る情報協議会等への情報提供に努める」</p> <p>1. 「農業農村整備事業の環境に係る情報協議会」について 土地改良法の改正（第1条第2項「環境との調和への配慮」）に伴い、農業農村整備事業は、市町村が独自に策定する「田園環境整備マスタープラン」（以下マスタープラン）に基づき実施されることとなるが、本協議会により、マスタープランと事業計画（県や市町村が策定）との整合性について検証や助言・意見交換を行う。</p> <p>2. 本協議会構成 本県の情報協議会は平成14年4月4日に設置され、委員は農村計画、地域計画環境・計画に携わる学識経験者、土地改良施設管理に係る実務者、地域づくりの実践者の5名から構成される。</p> <p>3. 開催時期（年2回開催） H15実績 第1回目・・・（8月25日）～新規地区の検討（33地区） 第2回目・・・（11月26日）～第1回目の懸案事項地区及び計画変更地区の検討（12地区）</p>	
状況工後の	<p>1. 市町村が策定する田園環境整備マスタープランと事業計画との整合性を学識経験者等の様々な立場から検討・助言・意見交換がなされ、活発な議論が展開される。</p> <p>2. 環境に対する県民の関心が高まる中、それぞれの専門委員による検討がなされることから、環境配慮の客観性・透明性を確保することが可能である。</p>	

## 図面、写真、説明



情報協議会開催状況



協議会委員の構成

氏 名	所属・役職	専 門
鈴木 トシ子	元 鳥海町笹子土地改良区職員	施設管理
金 田 吉 弘	秋田県立大学生物資源科学部助教授	環境計画
斉 藤 とし子	グリーンレディースにかほ代表	地域づくり
豊 島 君 男	元県立金足農業高校教頭	農村計画
真 勢 徹	秋田県立大学短期大学部教授	地域計画

印は委員長。平成16年6月現在